

2019年6月12日

関係各位

2018年1月～12月の国内イベント消費規模推計発表

イベント市場規模は17兆3,510億円（前年比104.2%）。

イベント来場者の消費金額は7年連続の伸長。

今年開催のラグビーワールドカップ、2020年7月開会の東京オリンピック/パラリンピック、2021年開催の関西ワールドマスターズゲームズと続くゴールデン・スポーツイヤーズ、その先2025年の大阪・関西万博も決定し、日本はこの数年間にかけて経験したことの無いような大型イベント開催の時代を迎えます。

イベントのビジネススケール、社会影響力、コミュニケーション手段としての効果など、世の中のイベントを取り巻く環境は劇的に変化し、その価値を改めて発信する絶好の機会が到来します。イベントならではの「人が集まる」という臨場感、同時性という特長、その結果「人の心を動かす」というエモーショナルな価値を提供する手法という原点が改めて評価されています。

当協会ではさまざまなカテゴリーのイベントに実際に足を運ぶ生活者の消費額を平成24年より定期的に調査しています。今回の「2018年イベント消費規模推計報告書」においてもイベントに対する様々な支出（出発前、交通費、宿泊費、会場外、イベント後）を含めたイベントの全体消費規模金額は17兆3,510億円（前年比104.2%）と7年連続で上回りました。カテゴリー別としては、消費規模の大きい順に、興業イベント6兆2,673億円、フェスティバル2兆8,048億円、文化イベント2兆5,171億円、会議イベント2兆3,069億円、スポーツイベント1兆6,325億円、見本市・展示会1兆3,402億円、販促イベント4,585億円、博覧会237億円の順となっています。

今回の報告書では、見本市・展示会、文化イベント、フェスティバルでは具体的なイベント名が大きく増え、その名称から企業のみならず地方自治体・団体によるイベントが盛んに開催されていることが推測できます。これは、インターネットによるバーチャルが更に進展するからこそ、需要が高まっていくイベントの持つ「ライブ・リアル」の価値が改めて評価されていると考えられます。

今後も、日本イベント産業振興協会（JACE）では、より実態に即した意義あるデータを収集しつつ、年次データを蓄積していきます。本調査報告書を、イベント市場の推移を探る一助として役立ていただければ幸いです。

本調査報告書「2018年度イベント消費規模推計報告書」は6月14日より協会ホームページ <http://www.jace.or.jp/>より購入できるようになりますので、ご活用いただければ幸いです。

【本件に関する問い合わせ先】

一般社団法人 日本イベント産業振興協会

TEL:03-3238-7821 FAX:03-3238-7834 E-mail:pr@jace.or.jp